
HCアセットマネジメント株式会社

会社概要

2023.6.30

<https://www.hcax.com>

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第430号
加入協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人投資信託協会

人+産業金融=成長
成長を支える投資の原点へ

HC
asset
management

- 設立 2002年11月29日
- 資本金 212,800千円
- 株主 役職員等
- 代表取締役社長 森本紀行
- 役職員総数 29名(2023年7月1日現在)
- 事業内容 投資運用業※1 投資助言・代理業
第二種金融商品取引業
- 運用総額 2,154億円 48顧客 69口座(2023年6月30日現在)※2
- 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第430号
- 加入協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人投資信託協会

※1 投資運用業に係る内部統制報告書(注)を監査法人より取得

(評価期間:2022年1月1日~2022年12月31日)

(注)保証業務実務指針3402(日本公認会計士協会)

「受託業務に係る内部統制の保証報告書に関する実務指針」

※2 口座数は当社運用の組入外国投信を除く全口座数となります。

委託内容別残高	千円	%
インカムプラス戦略	90,887,680	42.2
インカム戦略	15,826,973	7.3
グローバル債券	33,140,715	15.4
グローバル株式	29,987,697	13.9
ジャパンオポチュニティ	27,708,384	12.9
グローバルオポチュニティ	17,882,888	8.3
計	215,434,337	100.0

顧客類型別残高	千円	%
年金基金	124,270,255	57.7
企業年金等		
厚生年金基金	57,576	0.0
金融機関	22,183,489	10.3
保険会社等		
銀行等	15,197,099	7.1
その他	34,348,128	15.9
大学		
事業法人	1,761,806	0.8
投資信託	17,615,985	8.2
計	215,434,337	100.0

運用会社別残高	千円	%
1 Fortress	41,881,215	19.4
2 Artisan	14,198,476	6.6
3 Oaktree	13,756,293	6.4
4 Blackstone	11,858,524	5.5
5 Orbis	11,022,592	5.1
6 Colchis	9,896,586	4.6
7 Sit	8,319,423	3.9
8 Colchester	7,365,666	3.4
9 Manulife	6,653,262	3.1
10 Brandywine	6,125,375	2.8
他 41社	67,258,428	31.2
計	198,335,839	92.1
キャッシュ	17,098,498	7.9
合計	215,434,337	100.0

フィデューシャリー・デューティーを徹底します

- 専らに顧客の利益のために働きます
- 積極的な営業活動を行わず、顧客のために専念して働きます
- 安定的に役務を提供し続けるのに必要な経費を合理的に算出し、全顧客に対して同一基準で報酬率を定めます
- 機関投資家向けの投資運用業と同品質の個人向け投資信託を提供します

人間の生活に必要な産業のなかで、金融技法の高度化が求められている領域へ投資します

- 人間の生活必需に基づく事業で、創造されるキャッシュフローの安定性と予測可能性が高い領域を選択します
- 最も有利な方法で事業キャッシュフローへ参画します

ヒューマンキャピタルの無限の可能性を信じます

- 各投資領域において、最良の運用会社を選び、運用を委託します

顧客 運用総額: 2,154億円 48顧客 69口座 (2023年6月30日現在)

投資運用機能 責任者 橋本あかね <人員数:18(19)>

- 投資運用
 - 顧客サービス
 - 調査
 - 執行約定
 - 運用報告
 - 広報企画
 - 内部統制 [森本、機能全員が分担]
- 勝部/柳井/大山/森脇/細野/
酒見/飛内/仙波/長澤/加藤/
Tee/翁/岸野/林/広瀬/
坂口/城/関
※詳細は担当表

コーポレート機能 責任者 森田由香利 <人員数:6(6)>

- 広報
 - 総務
 - 財務
 - 内部統制 [森本、機能全員が分担]
- 大月/宇野/飯塚(休)/神山/鈴木(派)
※詳細は担当表

外注先
(業務委託)

(小平)
(細川)

ガバナンス機能 代表取締役社長 森本紀行 <人員数:4(5)>

- フィデューシャリー連絡会
- モニタリング(内部監査) — 橋本/森田
- 経営会議
- 投資業務委員会
- 投資政策会議
- 総務企画委員会
- 取締役会 取締役4名(うち社外取締役2名)

監査役 社外監査役 <人員数:1>

株主総会

- ・株主 : 役職員等
- ・役員 : 代表取締役社長 森本紀行
常務取締役 橋本あかね
取締役(社外) 鈴木信一
取締役(社外) 松川裕
監査役(社外) 原口昌之
- ・役職員総数 : 29名

構成員	人員数	男性	女性
非常勤役員	3名	3	0
常勤役員	2名	1	1
従業員	19名	13	6
継続雇用社員	1名	0	1
有期間契約社員	3名	2	1
派遣スタッフ	1名	0	1
計	29名	19	10
(構成員外)業務委託者	2名	1	1

*参画五十音順

*<人員数:主務人員数(総人員数)>主務人員数は重複算出を行わない

代表取締役社長 森本紀行

2002年11月HCアセットマネジメント(株)設立。代表取締役社長に就任。

1990年1月ワイアット(現ウイリス・タワーズワトソン)入社。1992年8月取締役就任。企業年金基金等の機関投資家向け投資コンサルティング事業の責任者として、同社の事業基盤を作る。1999年には、退職金等の企業の福利制度の設計等を行うベネフィット事業と金融機関等への金融サービスコンサルティング事業を立ち上げ、同社取締役として、3事業部門全体の統括責任者を務めた。

1986年10月から1990年1月までは、三井生命(現大樹生命)の特別勘定運用室のファンドマネジャーとして、同社の変額保険・団体年金資産の運用業務に携わり、外国証券・債券運用部門の責任者、資産配分・運用戦略の責任者を務めた。前2年間は、同社ロンドン駐在員事務所にて、外国債券を中心とした資産運用業務に従事。

1983年10月に同社有価証券部証券調査課にて国内株式の調査業務に従事して以来、資産運用業務に携わっている。

著書等 共著書:『フィデューシャリー・デューティー・ワークショップ ―金融における顧客本位な働き方改革―』(金融財政事情研究会2018年5月刊)
著書:『銀行員大失業時代』(小学館2017年8月刊)
著書:『フィデューシャリー・デューティー顧客本位の業務運営とは何か』(ビジネス教育出版社2016年12月刊)
著書:『福島原子力事故の責任 法律の正義と社会的公正』(日本電気協会新聞部2012年9月刊)
共著書:『「人材」「報酬」「年金」のポートフォリオ戦略』(東洋経済新報社1999年10月刊) その他、講演・雑誌論文等多数

職歴 2002年11月 HCアセットマネジメントを設立、代表取締役に就任
1990年1月 ワイアット(現ウイリス・タワーズワトソン)入社
1981年4月 三井生命(現大樹生命)入社

学歴 1981年3月 東京大学文学部哲学科卒業

常務取締役 橋本あかね 東京銀行(現三菱UFJ銀行)、ワトソンワイアット(現ウイリス・タワーズワトソン)を経て参画

取締役(社外) 松川裕 元三井生命(現大樹生命)常務取締役

取締役(社外) 鈴木信一 幸橋法律事務所 代表弁護士

監査役(社外) 原口昌之 英和法律事務所 代表弁護士

コーポレートサイト

<https://www.hcax.com>



fromHC

<https://www.fromhc.com>

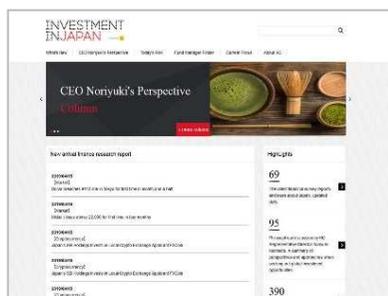
機関投資家向け資産運用情報サイト。弊社主催イベントの告知情報をはじめ、市場環境データや、投資のプロへのインタビュー記事など、資産運用に関わる様々な情報を配信しております。



Investment in Japan

<https://www.investmentinjapan.com>

日本の投資機会について発信する情報サイト。日本のユニークな金融構造が生み出す新たな投資機会を創出し、全世界の投資家へ提供することが目的です。



代表森本が執筆者として参加しています

◆ 言論プラットフォーム アゴラ

<http://agora-web.jp/archives/author/morimotonoriyuki>



◆ Yahoo!ニュース個人 哲学的産業金融論

<https://news.yahoo.co.jp/byline/morimotonoriyuki/>



HC資産運用セミナー（弊社スタジオからのウェブ配信）

広く資産運用に携わるプロフェッショナルな皆様を対象に資本市場における種々の投資対象・投資に関する概念等、広範なテーマで定例開催しております。

産業金融フォーラム

成長戦略の実現と金融機能の再構築をメインテーマに据え、具体的な提言を行うフォーラムを定期的で開催しております。

主催：(株)日本政策投資銀行、HCアセットマネジメント(株)

後援：日本経済新聞社

協賛：一般社団法人金融財政事情研究会 一般社団法人日本CFO協会

企画協力：地域共創ネットワーク(株)



マネジャ ワークショップ

投資家の皆様を対象に、投資対象・テーマに応じた国内外のベテラン運用プロフェッショナルを招集し、戦略説明会を開催しております。

ソーシャルメディア アカウント一覧


 ・HCアセットマネジメント
 ・森本紀行
 ・Investment in Japan


 ・HC Asset Management Co., Ltd.
 ・Noriyuki Morimoto

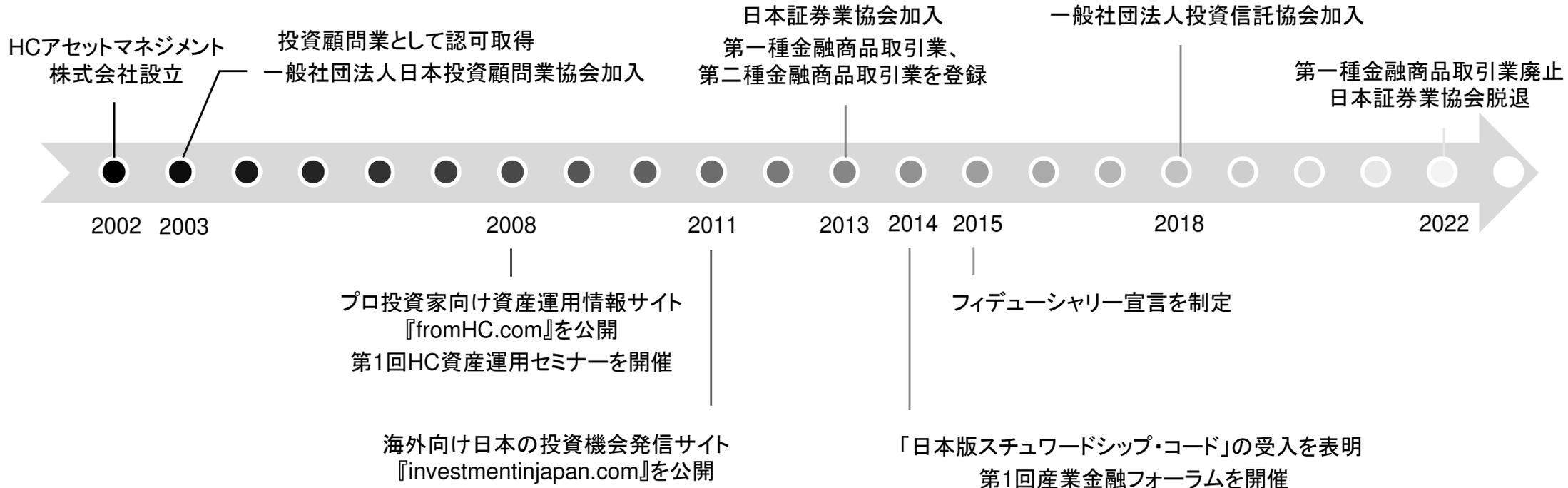

 ・森本紀行
 (@nmorimoto_HC)
 ・Investment in Japan
 (@IIJ_HC)


 ・Hc Fromh

■ 創業の想い

- HCはヒューマンキャピタルを意味します。
- HCはヒューマンキャピタルに、即ち真の投資のプロフェッショナルに投資します。
- HCは投資の機会を見出し創造します。
- HCは投資の機会を厳選して分散します。
- HCはヒューマンキャピタルの無限の成長可能性を信じます。
- HCは人間力で社会の成長に貢献します。
- HCはヒューマニティとカルチャーを意味します。

■ 沿革



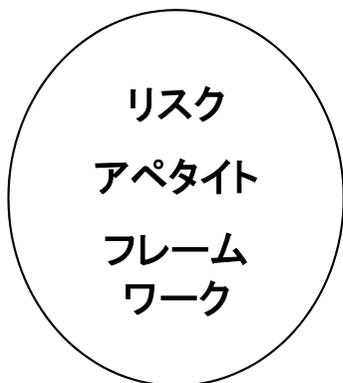
HCアセットマネジメント株式会社

資産運用サービス

人+産業金融=成長
成長を支える投資の原点へ



リスク管理の階層化



アペタイト(意図的にとること)の対象としての戦略的リスクテイク

- 投資対象のもつ本源的な事業キャッシュフローの創造力と社会的必需性
- 事業キャッシュフロー源泉の厳選と、同時に源泉の徹底的なグローバル分散と産業分散
- 事業キャッシュフローに参画する方法の高度化
(資本構成上の最適な地位の選択とガバナンスリスクの回避)

アペタイトの対象ではないものの戦略的リスクテイクに付随するリスクの制御(マネッジ、コントロール)

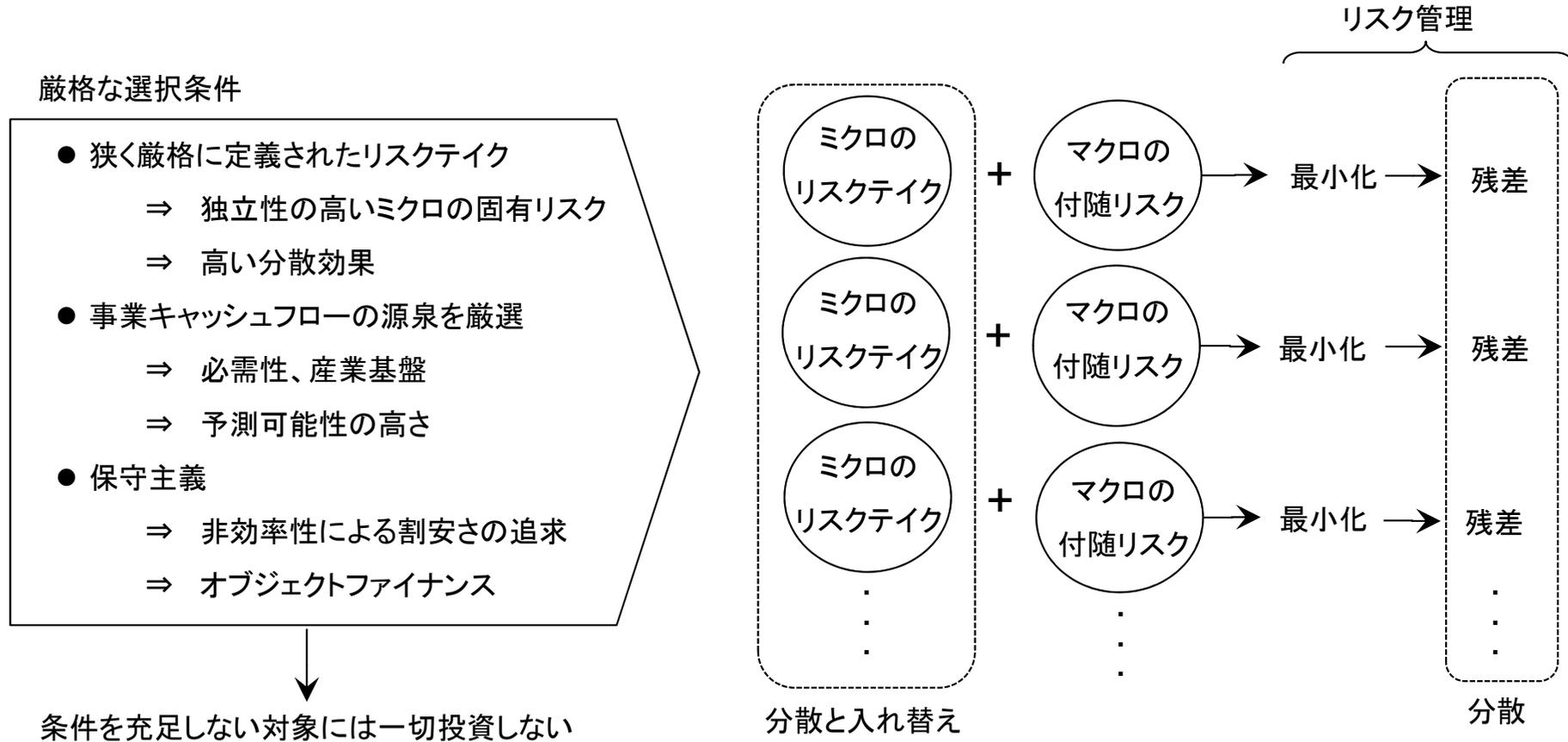
- 戦略的リスクテイクに付属する諸リスクは、意図しないもの、不要なものとして制御し、最小化に努めます
- マクロリスク(金利、為替等)は最小化に努めます
- 価格変動(ボラティリティ)は許容範囲に収めます

決してアペタイトの対象にしてはいけないリスクの排除

- 事業キャッシュフローを合理的に推計できない事業には投資しません
- 社会的必需性の乏しい事業には投資しません
- 金融の社会的機能からの逸脱は回避します

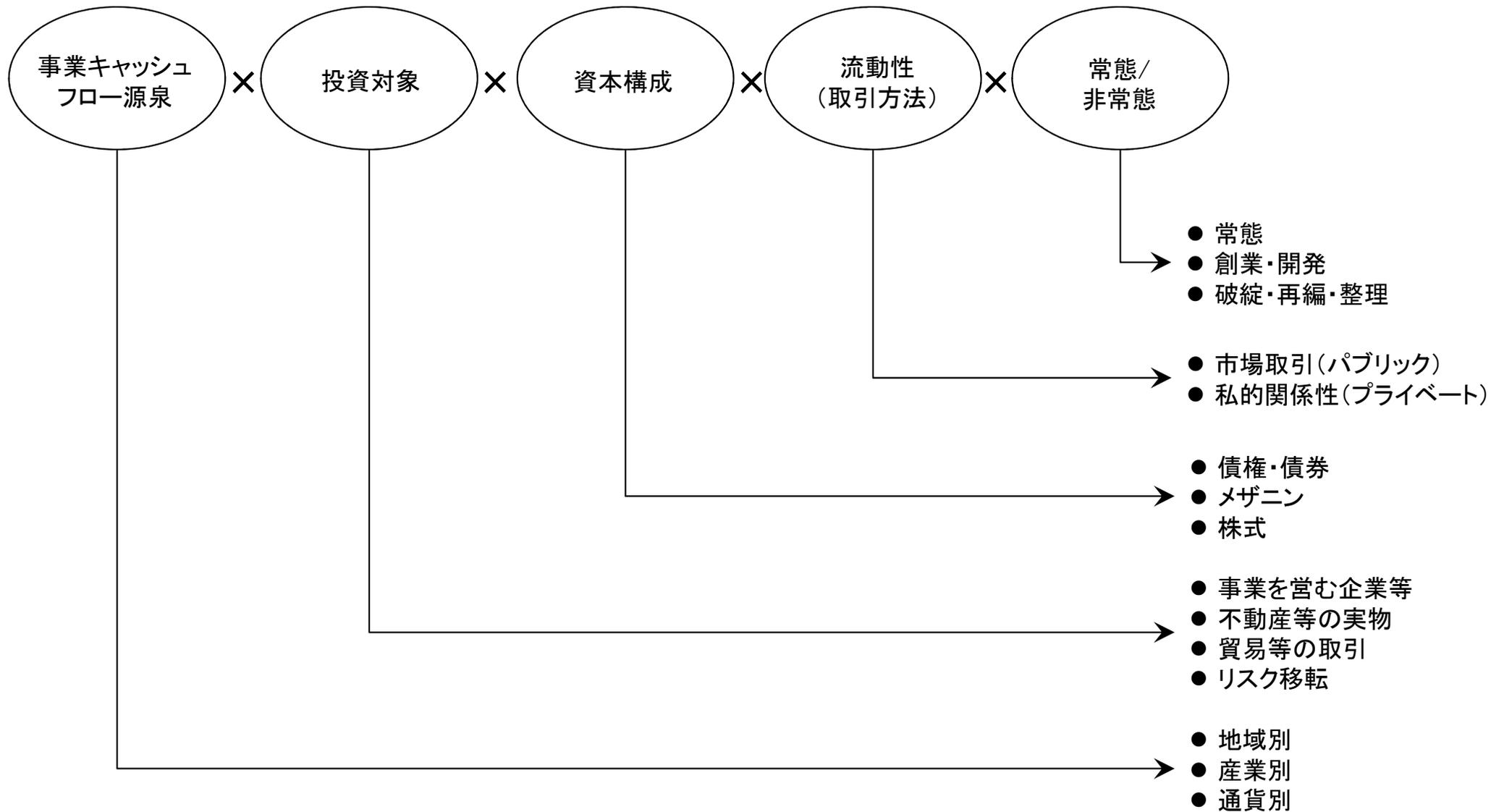
リスクアペタイトフレームワークの最高度な適用

=①意図的なリスクテイク、②付随する意図せざるリスクの最小化、③テイクしないリスク(テイクするリスクの厳格な制限)

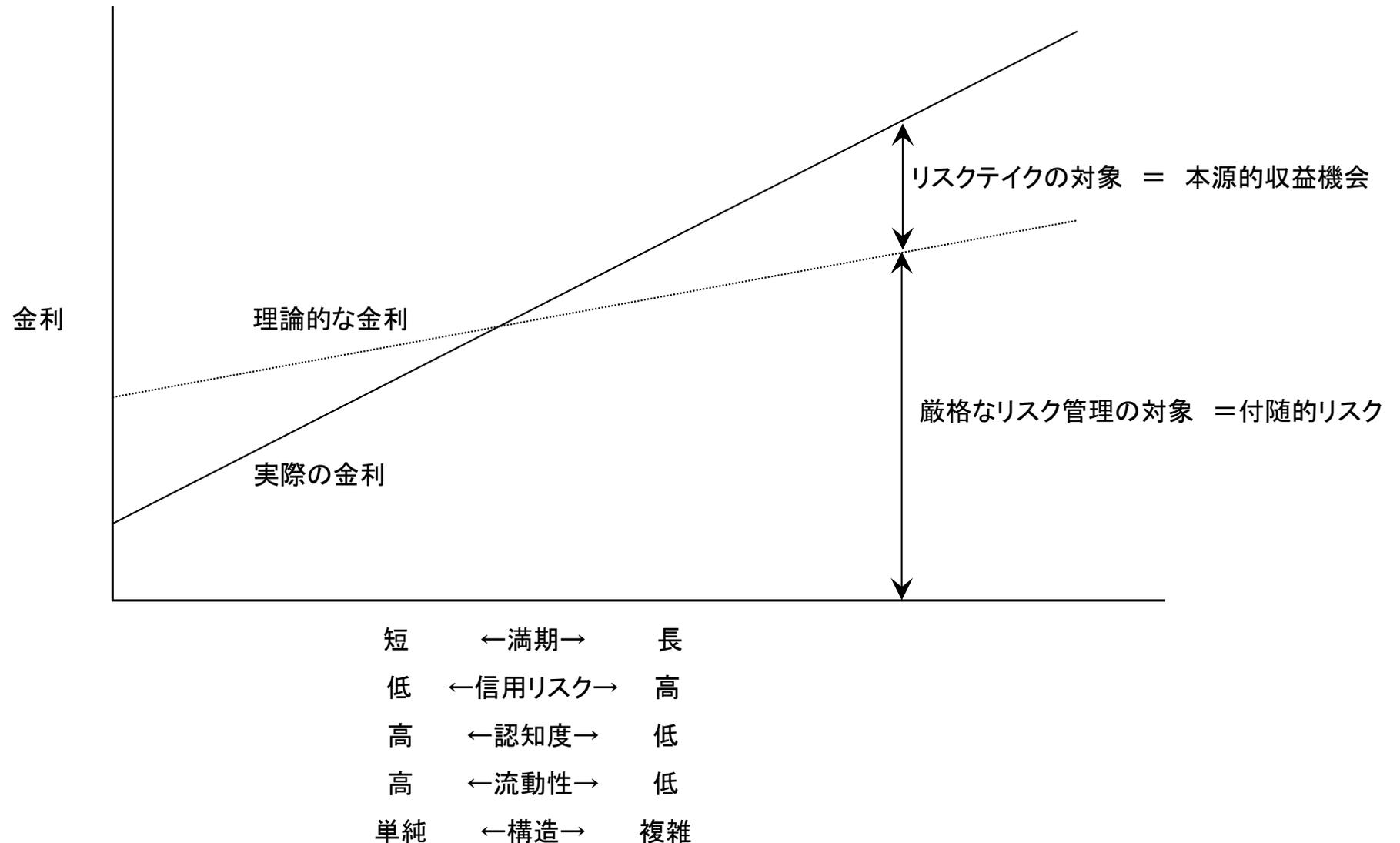


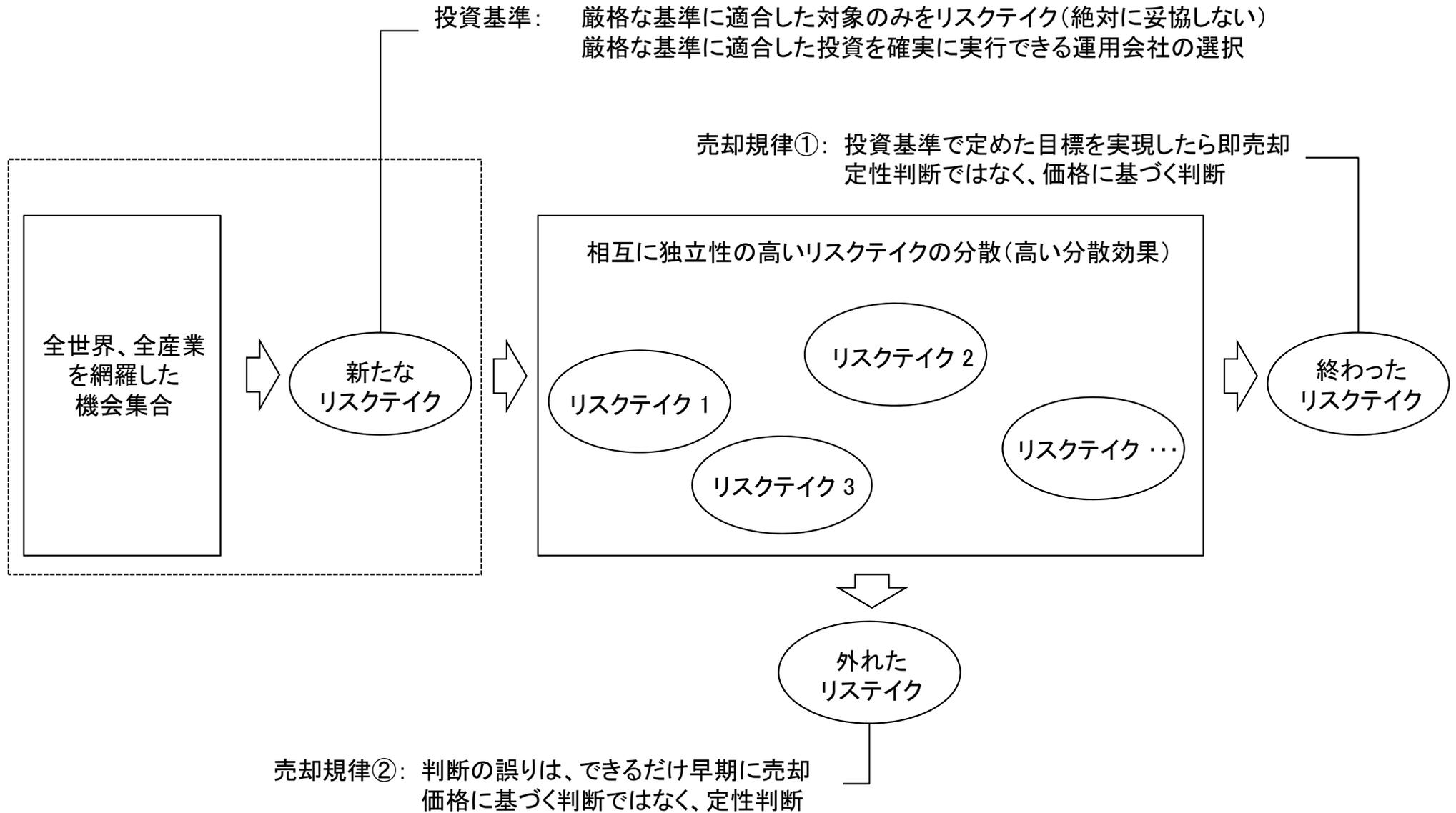
■ 株式投資についていえば、銘柄の厳選と必需性の高い産業への傾斜となり、債券投資についていえば、金利・為替リスクを最小化して、信用リスク等における銘柄の厳選となります。また、企業を単位とする投資方法を事業または資産単位に再構成することで、事業キャッシュフロー源泉に遡る戦略となります。

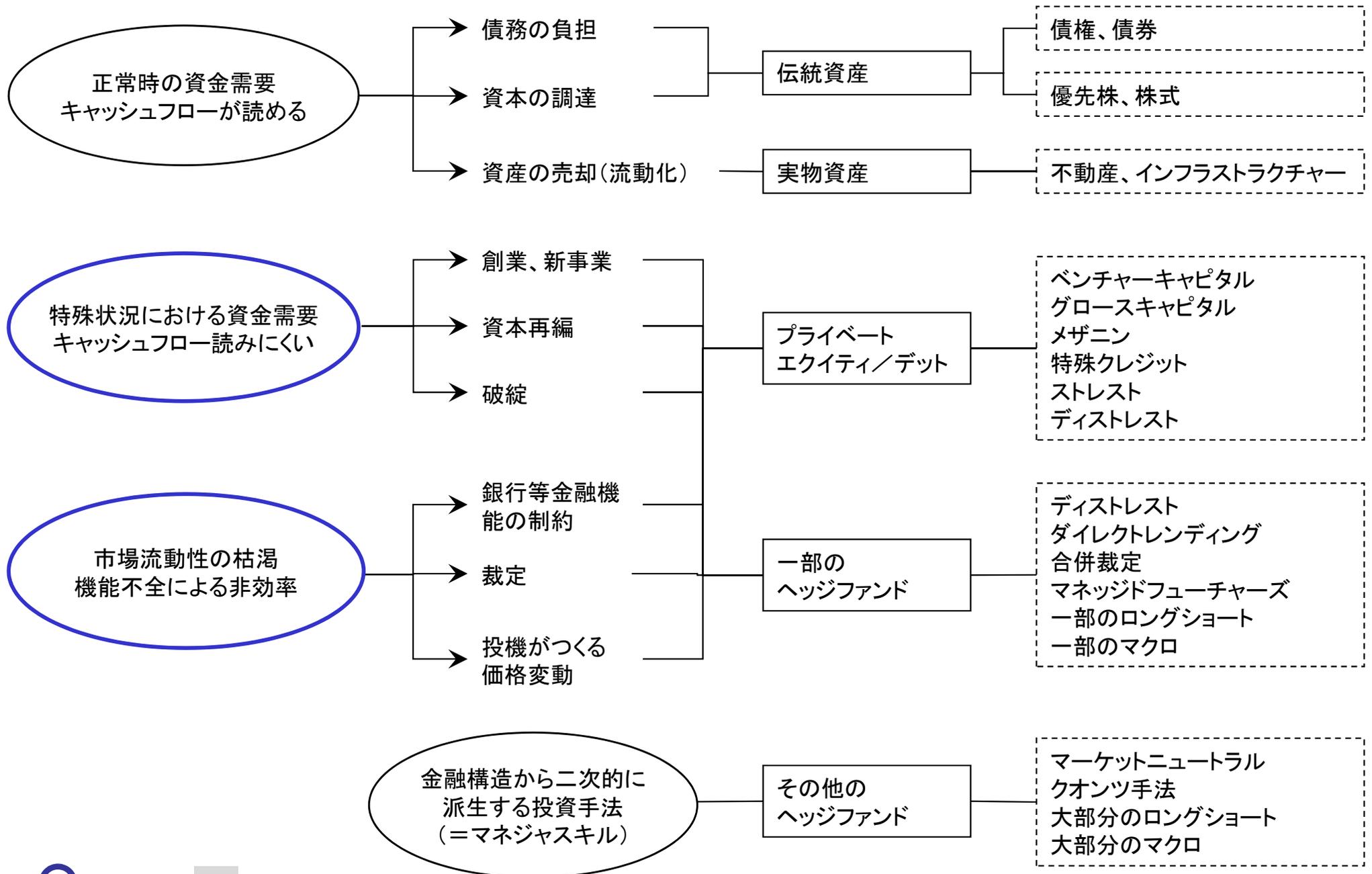
■ 投資の実行は、外部の運用会社の選定を通じて行うため、リスクアペタイトフレームワークは運用会社選択の原則として機能します。



- 表層的な金利の高さにつられて、安易に右のほうへ移動していくことは行いません
- 本源的な収益源泉を市場の非効率に見出し、その獲得(リスクテイク)に際しては、付随的なリスクを厳格に管理します







お客様の運用目的に見合う資産運用サービスを提供します

投資運用業務

ファンドアドバイザー業務

ポートフォリオマネジャー 森本紀行、橋本あかね(契約上の投資判断者)

投資機会発掘と付随リスクの管理、運用方針策定に関わる業務
(調査)

ポートフォリオ構築に関わる業務
(執行約定)

客観的リスク計測に関わる業務
(リスク管理)

内部統制 (業務プロセス、フィデューシャリー)

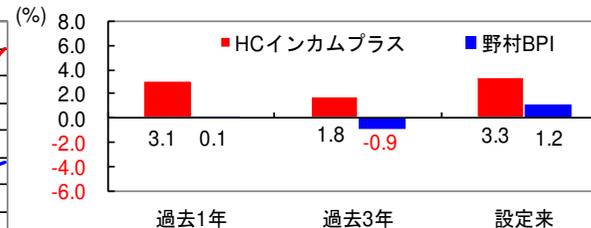
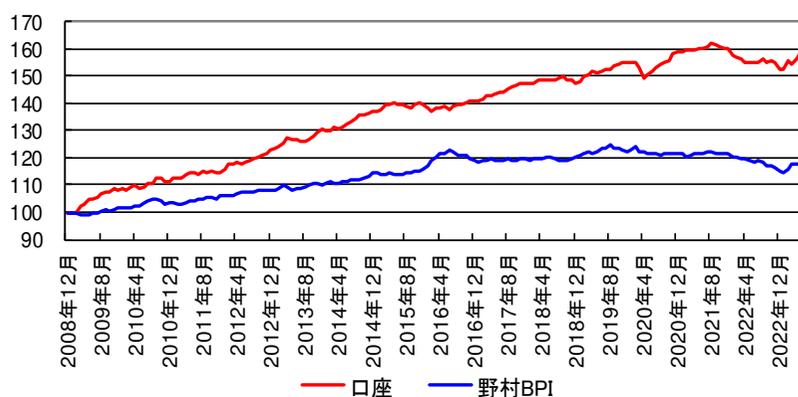
広報企画 (HCブランド向上策)

全役職員がポートフォリオマネジャーの投資判断をサポートし、会社全体として顧客本位なベストプラクティスを追求して参ります。

Investmentinjapan.com
fromhc.com

	絶対リターン追求型			ベンチマーク型	
	インカム (円債代替)	インカムプラス (長期資産形成)	投資機会 (オポチュニティ)	グローバル 債券	グローバル 株式
戦略	野村BPIを上回るリターンと安定インカムを追求する戦略	インカムと投資機会の組み合わせで安定リターンを追求する戦略	需給不均衡な投資対象に注目しディスカウントで取得可能な投資対象を厳選	インカム戦略を中核に多様な戦略の組み合わせで市場を上回るリターンを追求する戦略	キャッシュフローが安定する企業を中核に多様な収益機会を追求する戦略
指標	短期金利	短期金利	短期金利	BB Global Agg Citigroup WGBI JPM Global Div.	MSCI World MSCI EM TOPIX
目標	1-2%	3-5%	6-20%	超過収益 1-2%	超過収益 2-3%
投資対象	世界の債券および債権(流動性重視)	制限なし 世界の債券、債権、株式、先物、不動産等 投資対象に制限は設けず、個別ニーズにはガイドラインで対応します	制限なし グロースファイナンス、ストレート、ディストレストなど、資本規制や金融政策の影響で割安に取得できる状況に注目します	世界の債券	世界の株式 国別/地域別にも対応

<p>目的</p>	<p>インカムを重視し価格変動を抑制しつつ安定的な収益の達成を目指します。【高利回り】【短期回収】 また、ニーズはありつつも需給不均衡を背景に適正価値よりも安く取引される【投資機会】に注目します。 事業や資産が生み出すキャッシュフローを重視し、相場の波に追随することは目的としません。 金利リスクは抑制します。</p>
<p>付加価値源泉</p>	<p>大きな資金フローの影響を受けず、割高になりにくい投資対象を厳選します。 市場が小さい、発展中の分野もしくは構造が複雑なためにプロ中心の取引となっている、規制の関係で銀行が投資しにくい分野等、ミスマッチの生じうる状態に着目します。 定期分配が期待されれば流動性にはこだわりません。</p>
<p>リスクファクターと管理方法</p>	<p>【市場リスク】: 短期戦略に注目し、プライベートな投資対象を組み入れることでボラティリティ抑制を図ります。 【稼働率リスク】: プライベートな対象の稼働率リスクは分散による抑制を図ります。 【為替リスク】: 原則ヘッジし円ヘッジベースでリターンを管理します。為替オープン of 払込型比率は管理します。 【借換リスク】: 借入を伴う戦略は、借入の期間や構造が投資対象と整合性がある場合のみ投資対象とします。</p>
<p>主たる投資対象</p>	<p>世界各国の債券、貸付債権、不動産、株式。</p>
<p>目標リターン</p>	<p>円建て3-5%（円ベース、各種報酬控除後）</p>
<p>形態</p>	<p>複数ファンドの組み合わせ。</p>
<p>基軸通貨</p>	<p>日本円。外貨建て資産はヘッジ可能とします。長期にわたって投資回収が進む払込型は対象外とします。</p>
<p>レバレッジ</p>	<p>口座レベルでは無し。</p>
<p>分配方針</p>	<p>分配可能。</p>
<p>HC運用報酬</p>	<p>30億円まで0.40%、30億円超0.35%。（その他信託報酬およびファンド内報酬がかかります）。</p>



	実績 (%)					
	過去1年 12ヶ月		過去3年 36ヶ月		設定来 174ヶ月	
	リターン	リスク	リターン	リスク	リターン	リスク
HC	3.1	3.5	1.8	2.7	3.3	2.4
野村BPI	0.1	2.6	-0.9	1.9	1.2	1.8

	HCインカムプラス				野村BPI								YTD
	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	
2008										-0.3	-0.2	2.7	2.1
2009	1.0	1.5	0.3	0.8	0.7	0.6	0.5	0.9	-0.3	0.1	-0.2	1.0	7.2
2010	0.6	-1.3	0.5	1.6	0.1	1.3	0.3	-1.2	0.1	0.8	0.4	0.0	3.0
2011	1.2	0.3	-0.2	-0.3	1.3	-0.9	0.9	-0.9	0.4	1.0	1.3	0.4	4.6
2012	0.4	-0.7	0.7	0.3	0.6	0.7	0.5	0.8	0.7	0.8	0.6	1.2	6.7
2013	1.2	-0.4	-0.2	-0.3	-0.3	0.8	0.6	1.4	0.9	-0.6	0.3	0.7	4.3
2014	-0.3	0.5	0.8	0.7	0.9	0.9	-0.1	0.6	0.5	0.0	0.6	1.2	6.5
2015	0.0	0.3	-0.2	-0.1	-0.4	-0.5	0.8	0.3	-0.4	-0.8	-0.9	1.0	-0.9
2016	0.1	0.5	-0.9	0.8	0.5	0.1	0.5	0.3	0.2	-0.1	0.2	1.0	3.2
2017	0.2	0.4	0.3	0.1	0.7	0.6	0.4	0.4	0.0	0.1	0.1	0.7	4.1
2018	0.2	-0.1	0.1	0.0	0.6	0.3	-0.8	0.0	-1.1	0.6	1.1	0.8	1.5
2019	0.5	-0.1	0.3	0.4	0.0	0.5	0.4	0.6	0.0	0.0	0.1	-1.2	1.7
2020	-2.6	1.0	0.7	1.0	0.7	0.5	0.4	1.4	0.4	0.1	0.4	-0.1	3.9
2021	0.0	0.5	0.1	0.2	0.9	-0.3	-0.6	-0.1	-0.2	-1.6	-0.5	-0.4	-2.0
2022	-0.6	0.0	0.1	-0.1	0.8	-0.7	0.4	-0.4	-1.9	0.3	1.9	-0.6	-0.9
2023	0.9	1.2	1.3										3.5

- 組入戦略
 - 米国MBS
 - 欧米ABS
 - アジア社債
 - アジア貿易金融
 - 個人向けローン
 - 日本株
 - 米国不動産デット
 - 国内不動産コア
 - 欧米デット
 - 国内デット
- 資産配分
 - 国債 0
 - ローン <20
 - ABS/MBS <25
 - 社債 <5
 - 株式 <5
 - 現金等 <5
 - プライベート <45
 - (投資事業組合) 9ファンド
- 組入ファンド数 19

注意事項

- この資料は、HCおよび当社の投資先、もしくは投資候補として注目度の高いマネージャに関するご理解を深めていただくことを目的としており、投資助言や推奨、特定の金融商品の勧誘を目的としたものではありません。
- 投資一任契約等の金融商品取引契約には、以下のリスクや報酬・費用のご負担が伴い、損益はお客様に帰属します。なお、金融商品取引契約およびその対象となる金融商品毎にリスクや報酬・費用等の手数料が異なりますので、契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料をよくお読みください。

金融商品取引契約の対象となる金融商品やデリバティブ取引毎に異なりますが、金利や通貨の価格、株価等の様々な指標等の変動の影響を受け価格が変動し、元本欠損が生じる恐れがあります。なお、対象がファンドとなる場合は、運用会社の裁量等により解約制限条項が、事後的に設けられることがあります。

金融商品取引契約に関する当社報酬および金融商品取引に基づく投資の実行等に伴う費用(金融商品等の売買委託手数料、組み入れ投資信託で間接的に発生する運用報酬、信託報酬、監査費用等の費用)は、お客様との報酬に関する合意内容および対象となる金融商品の種類や保有期間等が金融商品取引契約毎に異なるため、予め表示することはできません。そのため、報酬と費用の合計額についても予め表示することはできません。
- この資料のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。また、当該情報の正確性や妥当性等についてHCが保証するものではありません。
- この資料の著作権その他知的財産権はHCに帰属し、HCの承諾なしの利用、複製、ネットワークでの配信、その他の商用利用は固く禁じます。

インデックス

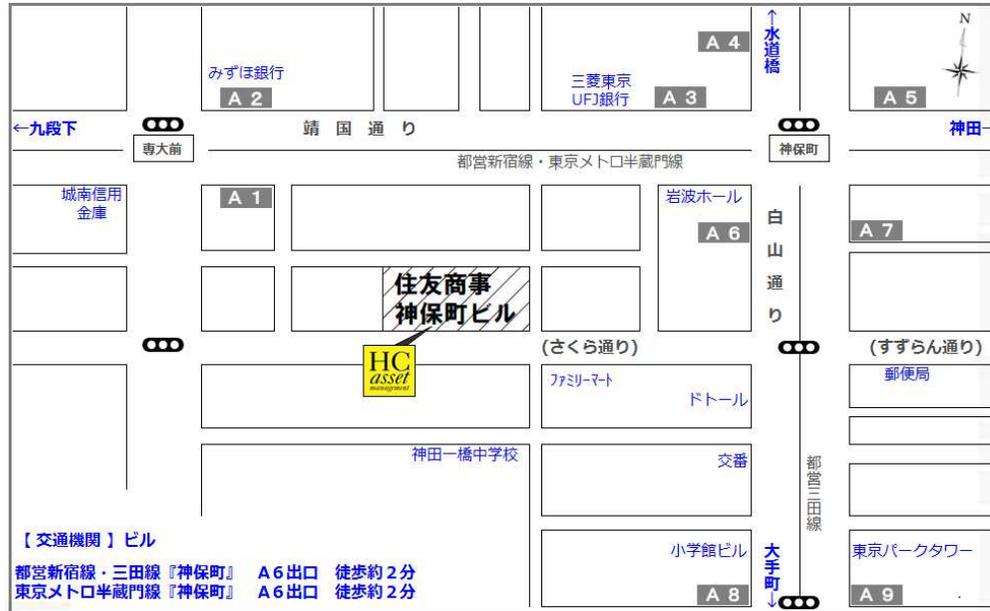
- FTSE世界国債インデックス、FTSE米国ハイイールド市場インデックス（FTSE債券インデックスは、ロンドン証券取引所グループが開発・算出・公表を行う債券インデックスです。）
- Bloomberg Global Aggregate Index, Bloomberg US Aggregate Bond Index, Bloomberg US Aggregate 1-3 Year Index, Bloomberg Euro Aggregate Bond Index, Bloomberg US Mortgage Backed Securities (MBS) Index, Bloomberg World Government Inflation-Linked Bond (WGILB) Index, Bloomberg Global High Yield Index
「ブルームバーグ (Bloomberg®)」は、ライセンス管理者であるブルームバーグインデックスサービスリミテッド (Bloomberg Index Services Limited) を含むブルームバーグ・ファイナンスLP (Bloomberg Finance L.P.) およびその関連会社のサービスマークです。これらのインデックス (総称して「ブルームバーグ」) については、ライセンス管理者によって特定の目的で使用するためのライセンスが付与されています。ブルームバーグはHCと提携しておらず、ブルームバーグはHCの事業活動・サービスを承認、レビュー、または推奨しているわけではありません。ブルームバーグは、HCの事業活動・サービスに関連するデータまたは情報の適時性、正確性、または完全性を保証するものではありません。
- JPMorgan Emerging Markets Bond Index Global Diversified (EMBI Global Diversified)、JPMorgan Emerging Local Markets Bond Index Plus (ELMI+)、JPMorgan Government Bond Index - Emerging Markets Global Diversified (GBI-EM GD)、JPMorgan Government Bond Index - Emerging Markets Broad Diversified (GBI-EM BD) JPMorgan Asia Credit Index JPMorganは、JPMorgan Index、またはこれに含まれ、若しくはライセンスされた権利に関連して、若しくはその使用のために、ライセンシーその他の者または組織が取得したいかなるデータの品質、正確性及び、または完全性を保証するものではありません。
- ICE BofA USD Libor 1M、3M、6M、ICE BofA JPY Libor 1M、3M、6M、ICE BofA EUR Libor 1M、3M、6M、ICE BofA GBP Libor 1M、3M、6M、ICE BofA USD Libor 3M (JPY)、ICE BofA US High Yield Master II Index、ICE BofA Euro High Yield EUR Hedged、ICE BofA US Treasury 1-3 Years Index (Hedged, Unhedged) 、ICE BofA US Treasury & Agency 1-5 Years Index ICE BofA Indicesは、ICE Data Indices, LLC およびその関連会社の登録商標です。
- MSCI AC World、MSCI AC Asia、MSCI AC Asia ex Japan、MSCI Asia Pacific、MSCI Asia Pacific ex Japan、MSCI KOKUSA1、MSCI China A、MSCI World、MSCI EAFE、MSCI Emerging Markets、MSCI Inc. の許可を得て使用。
- TOPIX (配当込)
「TOPIXの指数値及びTOPIXの商標は、株式会社東京証券取引所 (以下「東証」といいます。) の知的財産であり、株価指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利は東証が有しています。東証は、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の停止又はTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行うことができます。東証は、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。」
- NOMURA-BPI 総合、短期 (1年以上3年未満)、中期 (3年以上7年未満)、長期 (7年以上)
「NOMURA-BPI 総合、短期 (1年以上3年未満)、中期 (3年以上7年未満)、長期 (7年以上) は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI 総合、短期 (1年以上3年未満)、中期 (3年以上7年未満)、長期 (7年以上) を用いて行われるHCの事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。」
- Russell/Nomura Japan Index
「Russell/Nomura Japan Indexは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社及びRussell Investmentsに帰属します。なお、野村證券株式会社及びRussell Investmentsは、Russell/Nomura Japan Indexの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、Russell/Nomura Japan Indexを用いて行われるHCの事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。」
- ラッセル2000グロースインデックス
「ラッセル・インデックスに関連する登録商標、トレードマーク、サービスマークおよび著作権等の知的財産権、指数値の算出、利用その他一切の権利は、ラッセル・インベストメントに帰属します。インデックスは資産運用管理の対象ではありません。またインデックス自体は直接的に投資の対象となるものではありません。」
- Eurekahedge Asian Hedge Fund Index、Eurekahedge Asian Hedge Fund Index (Asia ex-Japan Index) 、Eurekahedgeの許可を得て使用。
- FTSE All World、FTSE World、S&P500
- Credit Suisse Leveraged Loan Index、Credit Suisse western european leveraged loan Index、S&P European Leveraged Loan Index、Swiss Re USD Cat Bond Performance Index

※当社で参照している上記インデックスは、全てトータルリターン・インデックスです。その略称を記載する際には、税引き後基準で算出されているもののみ「Net」と付しています。

※上記インデックスの知的所有権その他一切の権利は、その公表元および許諾者に帰属します。

出所: Datastream, Bloomberg ならびに各ライセンスサイト 尚、上記の全てのインデックスは、Datastream, Bloombergならびに各ライセンスとの契約により、または各ライセンスの使用許諾を得て使用しています。

アクセス



HCアセットマネジメント株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町二丁目11番地

電話: 03-6685-0681 (代表)

HP: <https://www.hcax.com>

<https://www.facebook.com/hcasset>